



協 自 自
調 律 主

次代を担う若人

筑 西

久留米市立筑邦西中学校
学校だより 5-21号
令和6年2月27日
文責 校長 古賀 一英

「教育活動についての保護者アンケート」 ご協力ありがとうございました！

12月に「教育活動についての保護者アンケート」を実施させていただきました。ご多用な中に丁寧にご回答いただき心より感謝申し上げます。

この保護者アンケートは、保護者の視点で本校の現状について評価をしていただくことで、本校の課題を把握し、今後の学校運営の改善を図るために実施をしています。また、生徒たちには、学期ごとに各教科の授業評価を実施し、各授業担当者は、その結果を踏まえ授業改善に努めています。今回の保護者アンケートの結果は次のとおりです。

令和5年度教育活動に関する保護者アンケート

	質問内容 ※回答は4段階評価であり、平均値を表示しています。	R5	R4
学校生活	① 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。	3.04	3.05
	② 学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行なっている。	3.21	3.20
	③ お子さんは、授業が分かると言っている。	2.68	2.70
	④ お子さんは、学校に喜んで登校している。	3.10	3.22
	⑤ 部活動は、生徒にとって充実した活動になっている。	3.32	3.29
	⑥ 先生たちは、お子さんのことをよく理解している。	3.07	3.15
	⑦ 先生たちは、お子さんの良さや努力を認め伸ばそうとしている。	3.19	3.23
	⑧ 先生たちは、生徒の間違った行動を厳しく指導している。	3.11	3.10
	⑨ 先生たちは、生徒を公平に評価している。	3.08	3.06
	⑩ 先生たちは、相談事や悩み事について、適切に応じている。	3.11	3.13
	⑪ 先生たちは、いじめなどない楽しい学校づくりに努めている。	3.22	3.14
家庭生活	⑫ お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	2.50	2.47
	⑬ お子さんは、家庭で挨拶をする習慣が身についている。	3.10	3.10
	⑭ お子さんは、学校の事を家でよく話している。	2.94	3.04
	⑮ お子さんは、学校の配布物など、きちんと渡している。	2.61	2.73
	⑯ ご家庭で、お子さんと進路（夢や目標）について話している。	2.96	3.06
他	⑰ お子さんを筑邦西中学校に入学させて良かったと思っている。	3.29	3.28

今回の結果から、本校の最重要な課題は、③「授業がわかると言っている」と⑫「家庭学習の習慣が身に付いている」であると言えます。今後、生徒からの授業評価も真摯に受け止め、「わかった・できた」と生徒たちが思える授業づくりに教職員一同努めていきますのでよろしくお願いいたします。

また、記述欄にはたくさんの貴重な意見をいただきました。ご意見の主なものは、授業やテスト、提出物に関する事、学級や部活動の人間関係に関する事、進路に関する事、学校行事に関する事等でした。これらの意見については、しっかり受け止め、今後検討し、適宜学校運営にいかしていきたいと考えております。なお、その記述欄には、たくさんの感謝の言葉も頂戴いたしました。不十分な点がまだありますが、教職員が生徒たちに寄り添い、頑張っていることを肯定的に見ていただけたことに、教職員も勇気づけられたことと思います。校長として、心より感謝申し上げます。

令和5年度 第65回卒業式について

1月29日付で3年生に卒業式の案内を配布しています。内容は下記のとおりです。当日は、式と学級活動をそれぞれ50分程度計画しています。

なお、式に代表として参加する生徒会執行部以外の1, 2年生については、自宅学習となっていますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 日時 | 令和6年3月8日(金) 10:00開式(9:53~卒業生入場)
保護者受付 9:00~9:45
※ 受付を済ませて、開式15分前までにはご入場ください。 |
| 2 | 会場 | 本校 体育館 |
| 3 | その他 | ※ 受付は、体育館にて行います。
※ スリッパ・上履き等を必ずご持参ください。
※ 駐車場についてのお願い
・車の駐車は、グラウンドにお願いします。
・校門付近、グラウンドでは減速して安全運転をお願いします。 |

同窓会より寄付をいただきました

本校同窓会員である御船 滋様(第1回卒業生)より、本校同窓会に寄付をいただきました。御船さんからは、「生徒達のためになるものを購入してください」とお話をいただきました。そこで、内田 哲同窓会長と相談をして、部活動等で使う製氷機、行事等で使う折りたたみ椅子、授業で使うプロジェクターを購入しました。

御船様が在籍した時、大善寺中学校と安武中学校の統合がされました。今回の3月8日(金)に実施する卒業式は、第65回となります。御船様をはじめたくさんの方々が卒業され、今も母校である筑邦西中学校を見守っていただいていることに心より感謝申し上げます。

能登半島地震から1か月が過ぎて・・・

1月1日の地震発生から1か月以上が過ぎました。今なお、1万人を超える方々が避難生活を余儀なくされています。心よりお見舞い申し上げます。報道で、中学生を中心に希望を募り親元を離れ集団避難をしている子供たちのことを知りました。余震が続く避難所生活も、親元を離れた集団避難もどちらにも大きな不安があり、つらい決断を迫られていることに心が苦しくなりました。

そんな中、先日、私は久留米市のセーフコミュニティ合同対策委員会という会議に参加してきました。このセーフコミュニティは、「安全安心なまちづくり」の取組です。その中で、去年の竹野地区の水害や今回の能登半島地震などのようなことが自分の地域に起きた時を想定するワークショップでした。

委員の方々から出された意見は、災害拡大に対する不安、家族の安否に対する不安、避難所生活への不安、水、食料、燃料等の不足への不安、感染症などの病気の不安等、多くの心配事が出されました。

まとめでは、災害が発生し、地域全員が被災者であることから避難所が開設できるかどうか不明であることなどから、まずは最低でも3日ぐらい生活できる水や食料、簡易トイレなどを各家庭で準備する必要があること、家族で災害が起きた時のことについてコミュニケーションを図っておくこと、また近所の方とも連携できる関係づくりをしておくことなどを確認しました。

災害は、予告もなく襲ってきます。準備をしておくことがいかに大切であるかということ再認識しました。是非、各ご家庭でお子様と災害が発生した時のことについても話してみてください。